

## 「1990年以降製造の油入電気機器の、出荷時点における微量PCBの混入の可能性について」

高濃度PCBを使用していない電気機器から微量PCBの検出について、日本電機工業会は、1990年以降製造の油入電気機器の、出荷時点における微量PCBの混入の可能性について、次のように判断しています。

JEMAに加盟する油入電気機器を製造するメーカーの1990年以降製造の電気機器は、出荷時点において、微量PCBの混入はないと判断しています。

尚、1990年は過渡期であり、1990年何月からは混入する可能性はない、とホームページなどで説明している会社もあります。また、合成油を使用するコンデンサメーカーの中には、1991年以降は混入する可能性はない、とホームページなどで説明している会社もあります。

以上は、油入電気機器を製造するメーカーの出荷時点に関する判断ですが、機器の現在の状態については、コンデンサとコンデンサ以外の機器では判断が異なります。

●コンデンサは一般的に絶縁物に係る保守を行わない機器のため、保守を行っていないければ現在も出荷時点と同じく、微量PCBの混入はないと判断しています。

●コンデンサ以外の油入電気機器は、出荷後に絶縁油に関わる保守を行うことがある機器のため、保守を行っていれば、保守に使用した油や機材に微量のPCBが混入している場合に、出荷時点と異なり現在は、微量PCB混入の可能性を完全には否定することが出来ないと判断しています。

尚、下記のメーカー2社は、製造した一部の機器については、1994年までに出荷した機器に、1989年以前に購入した新油絶縁油を使用したものがあり、それぞれ「PCBの混入の可能性は極めて少ない」、あるいは「1989年以前の絶縁油(新油)を使用した」旨を、ホームページなどで説明しています。

富士電機:

[http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/other/econews\\_pcb\\_050905.html](http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/other/econews_pcb_050905.html)

1990年～1994年までに生産した油入り電気機器 混入の可能性は極めて少ない(注)

(注) 一部1989年以前に購入した絶縁油(新油)が封入されている機器があります。

高岳製作所(現: 東光高岳):

<http://www.tktk.co.jp/company/environment/pcb03/>

【対象機器】

機器銘板の製造年が1990年から1993年までで、製造番号のはじまりの文字が「ST8」、「ZT8」に該当する機器。